



保谷第一小学校PTA代表委員会
委員長 萩原 崇
保谷第一小学校PTA地区委員会
地区リーダー 海老沢幸子・中 育実
山本ちあき・中里景子

「ピーポくんの家」ご協力者のお知らせ



PTA 会員の皆様には日頃より、地区委員の活動へのご理解、ご協力を賜り心から感謝いたします。このお手紙では、「子ども110番ピーポくんの家」のご協力者様についてお知らせいたします。

「子ども110番ピーポくんの家」のご協力者様には、左のステッカーの掲示をお願いしております。

本校でご登録いただいている皆様には、日頃よりご協力を賜り感謝申し上げます。また、本年度も、多くのお店、工場の方々にもご協力を継続いただきましたこと、この場を借りて御礼申し上げます。

【「子ども110番ピーポくんの家」について】

【現在本校登録件数】・・・70件

【目的】・・・



子どもたちが、登下校の通学路や公園、広場や一般道路などで、「声かけ・ちかん・つきまとい」などにより被害を受けたり、身の危険や不安を感じたりした時に、安心して避難できる場所となります。

地域の皆様に、子どもたちを安全に保護し、110番通報をするなどのご協力をいただく活動で、地域で子どもを守り、犯罪による被害を未然に防ぐことを目的としています。

【注意点】・・・

『何か、危険があった時には、ここに助けをもとめなさい。』とご家庭でお話をしてください。

ただし、ピーポくんの家の協力者の方がお留守の場合や、ピーポくんの家がすぐ近くにない場合もありますので、緊急時には近くにいる人に助けをもとめる、誰もいない場合は大声で助けをもとめるようにお伝えいただきたく存じます。

また、危険時以外に訪れたり、お水を要望したり、トイレを借りたりすることがないように、お子様への説明をお願いいたします。

《活動のはじまり》

不審者などによる被害が発生した約 20 年前、子どもたちを守るためにはじまりました。

平成 11 年に保谷市と田無市が合併し、西東京市となってからは、市内を 4 つのグループに分けて活動しています。保谷第一小学校は、北部グループです。

北部グループは、保谷第一小の他、栄小、東小、碧山小、青嵐中、明保中から形成されています。

《ピーポくんの家の意味》

ピーポくんステッカーが掲示してあることで、地域の目があることを犯罪者に知らせます。

ピーポくんステッカーがたくさん掲示してあれば、たくさんの地域の目があることにつながり、犯罪が起こりにくい地域へとつながります。

・常にきれいなステッカーが掲示してあると、防犯を意識していることがわかります。

・必ず家に居なくてはいけないというものではありません。ステッカー掲示に効果があります。

【耳】

都民の声を
幅広く聞くための
ものなんだ

【アンテナ】

社会全体の動きを
素早くキャッチ
するためものだよ

《大事な予防力》

子どもへの犯罪が多発する時間帯は
下校時間から 19 時頃です。

子どもが一人にいる時に狙われます。そこで大事なのが大人の「見守る目」「見極める目」です。

子どもが一人にならない工夫をする、通学路・遊び場など子どもの行動範囲の危険箇所をチェックする、遊びに行く時は「どこに・だれと・何時に帰るか」を確認する。また、子どもの様子をよくみて、何でも話せる状況を作ってください。「子どもの力」「大人の力」「地域の力」が合わさることで、大きな犯罪抑止力になります。

【目】

社会のすみずみまで
見わたすんだ



警視庁 HP より

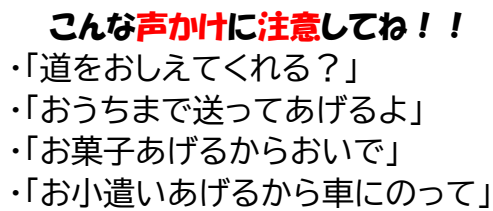
添付のピーポくん MAP を参考に、各ご家庭で子どもたちと一緒に場所の確認をしていただきたいと思います。

地図ではわからない所もあるかと思うので、実際に歩き、同じ地区班の方と情報共有していただければと思います。

なお、「子ども 110 番ピーポくんの家」は、子どもたちの安心・安全のために、沢山の方のご協力をお待ちしております。随時募集しておりますので、ご協力いただける方は、学校（担任→副校長先生）までご連絡ください。

保谷第一小学校の保護者の皆様には、日頃から、「送り出しリレー」や「登校指導」、「パトロール」などにご協力をいただいております。引き続き、よろしくお願いいたします。

～西東京市保谷第一小学校学区～



あったらこのステッカーの場所にかけこんでね

 は個人宅 は会社・店舗



ひといにならず、おともだちと帰ろうね！

